

前橋市における2つの「戦災復興」

-住宅建設を中心に

周南公立大学 経済学部 准教授

小林啓祐

1、はじめに—自己紹介

- ・日本の近現代経済史を専門とする。特に都市におけるさまざまな費用負担について強い興味を持つ。
→現在においても、費用の問題は行政にとって切っても切れない問題

2、本講座の前提とすること

- ・戦後復興期の前橋において、住宅はいかにして「復興」したのか？

①戦災復興期における市町村の役割

②戦災復興における住民の役割

戦災復興が都市に与えた影響は大きい。例えば千葉市→駅の移転が完成したのは15年後？

—前橋市概要

- ・1947年の臨時国勢調査において、前橋市の人口は90,432人
- ・表1は東京市政調査会が発行した『日本都市年鑑』に掲載された戦災都市の一覧
→前橋市では中心市街地が焼け野原になり、70%の被災率。全国的に見ても高い(図1)。

2022 年 10 月 27 日

- ・反対運動の展開→組織的なものは福島県平市（現いわき市）と前橋市の 2 市のみ

3、戦災復興計画立案前の住宅復興と前橋市政

- ・前橋市が戦災にあったのは、1945 年 8 月 5 日。その被害状況は前橋市発表で罹災戸数 11,460 戸、罹災人口 60,738 人¹。
- ・終戦後まもない 1945 年 8 月 25 日には、前橋市において復興調査会が設置
→市長を会長とし、市会議員と町内会長（区長）を委員とした²。25 日の調査会第一回委員会において討議されたのは、住宅の復興と消失跡地の菜園化。
住宅復興は県にとっても喫緊の課題
- ・建設費における負担は、必要とされる資材や労働力によって差がつけられ、古トタンを利用して労務を必要とする者が一戸 760 円、杉皮またはタンパンぶきで労務を必要とするものが 850 円、自力建設で木材及び釘のみの配給を受けるものが 533 円、木材杉皮及び釘の配給をうけるものが 654 円。
- ・1945 年 9 月 29 日の上毛新聞、建築許可についての詳細³。
 - 1、 市内戦災地に建設する建物は、何れも仮建築物とす
 - 2、 市及住宅営団に申し込みたる（六坪二合■…判読不明、引用者）住宅は、其の申込書を持って建築届と看做す
 - 3、 十五坪以下の住宅其のほかを建築する場合は、警察署長当てに将来計画上移転撤去等の命令ありたる場合はこれに応ずる旨の請書（建築届書）に付近の道路敷地の見取り図建物略図を添へ届け出ること（掘っ立て小屋はこの限りにあらず）
 - 4、 十五坪（二階坪を合わせ）を超ゆる場合にありては、従来通り工作物建築許可申請を警察署を経由して知事あて提出し許可を得るものとす
 - 5、 工場にありては、工場建設許可申請を併願するを得るものとす
 - 6、 既に建築のものに対しても手続きをなすこと
 - 7、 市街地建築物法施行地以外は五十坪平方メートルを超ゆるものは従来通り工作物増築許可申請をなすものす

1 前橋市戦災復興誌編集委員会編『戦災と復興』前橋市役所、1964 年、627 頁。

2 同前、558 頁。

3 「建築物に許可制」『上毛新聞』1945 年 9 月 29 日。

- ・前橋市戦災復興における自力建設の展開→住宅はあくまで私的なものという認識。そして、自力建設も「仮建築」という条件付き。
- ・進駐軍用の住宅建設に資材が優先的に振り向けられる状況⁴。前橋市では 1946 年 8 月に 10 戸、48 年 3 月に 2 戸、同 7 月に 3 戸の建設が命令⁵。GHQ は日本人向けの住宅復興には興味がない（そもそも、復興計画自体にも積極的な関与はない）。

■小括－被災民はいかに住宅を復興させていったのか

→実際自力建設は困難であるが、現実的には自力で建設することが求められる。一定の費用負担は免れず。1 つ目の戦災復興

4、前橋戦災復興土地区画整理の実行と住宅

- ・1946 年 10 月 9 日、特別都市計画法のもとで戦災復興計画を行う 115 都市が内閣より告示され、前橋市も指定。特別都市計画法のもとで行われる事業の大半は県に委嘱され、前橋市が担ったのは上下水道事業のみ。
- ・1946 年 10 月 7 日には、104 万坪にわたる土地区画整理事業計画が発表。
 - ・1946 年 11 月 26 日に群馬県告示として出された「前橋戦災復興都市計画区域」は、1,035,000 坪であり、罹災地区のみならずその周辺部も含まれていた。その中心は土地区画整理であり、1947 年 3 月 10 日に内閣指令第 278 号として出された「前橋戦災復興土地区画整理」は、総面積 1,004,625 坪であって、やはりその区域は罹災地区だけではなくその周辺部も含んだものであった⁶。

■前橋戦災復興土地区画整理によって住民たちはどのような影響を受けたのか

4本間義人『現代都市住宅政策』三省堂 1983 年 401 頁。1945 年当時戦災復興院土地局地政課長を務めていた師岡健四郎は「第一に GHQ のやったのは進駐軍住宅です。向こうは自分の住宅は一所懸命やったんです。」と回顧している（大本圭野『証言 日本の住宅政策』日本評論社、1991 年、172 頁。）。

⁵「昭和 23 年度知事事務引き継ぎ書」知事 82A4 群馬県総務部秘書課、群馬県文書館蔵。

⁶前橋市戦災復興誌編集委員会編、前掲書、1964 年、649 頁。

2022 年 10 月 27 日

→1946 年 12 月 17 日の上毛新聞、今後行われるであろう土地区画整理に対する不安の声。

・前橋市における戦災復興土地区画整理は、1946 年 10 月 7 日戦災復興院告示 207 号において、罹災地区を含めた 1,035,000 坪を整理。2 つ目の

戦災復興

・表4は前橋市の町ごとの人口動態

→1942 年から 1947 年の変化をみると、戦災地区である中心市街地の落ち込みが激しい

→被災者を十分収容できるほど住宅が建設されていなかったことを意味する。自力建設の限界？。前橋で伸びが著しいのは、前橋駅南にある非戦災地区。

・人口動態を見る限り、戦災は前橋市の郊外化を顕著に促したとみることができよう。

■住宅は補助を受けた建設ないしは、労務の有り無しによらず自力建設によるもので、その費用負担が住民に課せられていた。すでに、こうした支出がなされたうえ明確な収入増や補助金がないなかで戦災復興計画による減歩や工事による営業停止は死活問題となったことは想像に難くない。

■被災者は敗戦直後から区画整理に至るまで住宅に関して繰り返しの費用負担を余儀なくされていた。

5、まとめ

・財政難および物価高騰のなか罹災地の住宅建設を市がすべてを行うことは困難

→敗戦直後、行政が担ったのは罹災者から費用を徴収して建築するか、建築規制や建築資材の配給といった管理が中心。市民たちにとっての「復興」と行政の考える「復興」。どちらも「復興」ではあるが、生活といった視点で見ると、前者の持つ意味は大きい。

☆戦災復興期、住宅をめぐって複数の思惑が混在する特徴がよくわかる事例」

表1 各市区市町村別住宅復興状況(被災率等) 1948年時点										復興建築 住宅	復興率 ^{※1} 総戸数	被災率 ^{※2}	復興率 ^{※3}	復興建築/ 戦前戸数
市区市町村名	戦災人口	戦前戸数	疎開戸数	戦災戸数	千戸	千戸	千戸	千戸	千戸					
1 広島	306.0	67.4	11.4	61.8	14.3	21.2	110.4%	28.9%	31.5%					
2 日立	69.0	16.9	1.3	16.1	1.9	2.7	102.7%	15.8%	16.2%					
3 福井	92.3	21.9	0.0	21.5	8.3	12.0	98.4%	55.9%	55.0%					
4 浜松	120.0	32.6	1.1	28.8	10.0	13.6	91.6%	45.4%	41.7%					
5 八王子	70.0	15.5	1.0	12.9	1.7	0.5	89.0%	3.9%	3.5%					
6 沼津	44.4	11.5	0.2	9.9	7.6	9.3	88.2%	91.9%	81.3%					
7 甲府	79.0	21.0	0.1	18.1	4.7	7.2	86.5%	39.6%	34.3%					
8 一宮	50.0	13.3	0.9	10.5	3.7	4.6	84.9%	40.0%	34.4%					
9 津	59.4	14.9	0.8	11.6	2.4	3.4	82.2%	27.2%	22.6%					
10 岡山	100.0	32.2	1.2	25.2	3.0	4.6	81.2%	17.6%	14.4%					
11 徳島	71.0	23.3	0.8	18.2	2.3	3.6	80.5%	19.0%	15.4%					
12 長岡	53.7	13.4	0.5	10.3	4.2	6.1	79.8%	56.7%	45.7%					
13 平塚	31.0	9.5	0.4	7.2	2.8	3.5	79.6%	45.3%	36.5%					
14 明石	37.8	15.7	1.9	11.0	1.9	2.8	79.3%	21.6%	17.7%					
15 今治	35.0	10.9	0.6	8.1	1.0	1.9	78.5%	21.5%	17.1%					
16 富山	47.3	13.5	0.5	10.2	4.0	5.3	77.8%	49.8%	39.1%					
17 富山	75.0	32.1	2.4	22.8	12.4	15.3	76.6%	60.8%	47.6%					
18 桑名	29.6	8.6	0.4	6.2	2.5	4.5	75.7%	68.2%	52.3%					
19 静岡	114.0	42.3	0.5	31.4	11.8	15.9	74.9%	50.0%	37.6%					
20 水戸	44.1	13.2	0.8	9.3	3.0	4.4	74.8%	43.9%	33.5%					
21 鹿児島	115.6	38.0	1.8	27.0	7.1	10.7	74.6%	37.2%	28.2%					
22 姫路	55.4	20.5	0.7	14.5	2.0	4.2	73.4%	27.7%	20.6%					
23 神戸	470.8	183.6	22.2	115.9	8.1	21.7	71.8%	15.7%	11.8%					
24 豊橋	85.0	28.2	0.6	19.8	4.1	5.3	71.7%	25.9%	18.7%					
25 前橋	53.7	17.0	0.7	11.4	6.9	7.3	70.0%	60.4%	43.0%					
26 大坂	1098.8	568.4	72.4	334.2	27.5	67.6	67.4%	16.5%	11.9%					
27 東京	2869.1	1314.0	204.5	744.9	62.2	110.7	67.1%	11.7%	8.4%					
28 岐阜	100.0	34.9	4.5	20.3	10.4	12.9	66.7%	52.2%	37.0%					
29 和歌山	123.8	41.1	2.6	25.4	5.0	6.4	65.9%	22.9%	15.6%					
30 宇和島	32.0	10.3	0.7	6.3	1.0	1.5	65.7%	21.4%	14.6%					
31 高松	85.0	24.4	0.0	16.0	2.7	4.0	65.3%	25.1%	16.4%					
32 宇都宮	48.0	18.0	0.0	11.0	4.9	7.3	60.9%	66.6%	40.6%					
33 青森	85.0	26.5	0.9	15.3	3.9	5.7	59.6%	35.6%	21.7%					
34 松山	75.9	24.0	1.6	13.3	5.0	5.8	59.4%	38.6%	24.0%					
35 徳山	16.5	8.4	1.1	4.1	1.6	2.3	56.6%	43.1%	26.8%					
36 清水	42.0	15.5	0.5	8.5	5.0	6.5	56.3%	72.6%	41.9%					
37 阿崎	36.0	16.0	1.2	8.3	2.7	8.8	55.6%	93.7%	55.1%					
38 四日市	66.5	22.9	0.3	12.5	5.5	6.9	55.5%	53.7%	30.1%					
39 呉	124.7	58.7	7.3	28.3	4.0	5.0	55.0%	14.2%	8.6%					
40 西宮	67.9	25.5	1.1	13.0	1.6	2.4	53.3%	16.7%	9.2%					
41 横浜	377.0	206.7	20.1	99.0	16.3	23.9	53.1%	20.1%	11.6%					
42 川崎	200.0	76.2	8.9	35.1	5.6	7.8	52.2%	17.8%	10.3%					
43 大垣	20.0	11.4	2.1	4.8	1.4	2.3	51.4%	32.9%	19.9%					
44 名古屋	450.0	269.6	24.6	125.2	15.8	26.9	51.1%	17.9%	10.0%					
45 金沢	16.0	8.3	0.4	3.6	0.9	1.2	45.7%	29.1%	14.0%					
46 高知	50.0	27.3	0.5	12.1	3.7	5.7	44.9%	45.8%	21.0%					
47 鶴子	25.3	12.6	0.6	5.0	2.4	3.3	41.8%	59.6%	26.5%					
48 宇治山田	24.0	13.0	0.9	4.9	1.8	2.7	41.0%	46.5%	21.0%					
49 川内	9.2	6.8	0.0	2.8	1.2	1.9	40.9%	68.4%	27.9%					
50 千葉	38.0	22.0	1.7	8.1	2.3	2.9	39.9%	29.8%	13.3%					
51 堺	72.4	43.6	5.4	14.8	2.8	4.3	38.6%	21.4%	9.9%					
52 熊谷	30.0	10.4	0.2	3.8	2.0	2.6	37.2%	65.3%	25.2%					
53 八幡	58.2	50.5	10.3	14.3	1.3	2.0	35.5%	8.1%	3.9%					
54 大牟田	48.5	35.9	1.3	11.1	3.1	4.9	32.0%	39.8%	13.7%					
55 敦賀	21.2	6.1	2.4	1.1	0.1	1.9	30.0%	54.2%	31.5%					
56 久留米	20.0	18.4	3.0	4.5	1.9	4.3	29.2%	57.5%	23.4%					
57 熊本	67.1	42.5	2.3	11.5	5.0	7.7	28.6%	55.9%	18.1%					
58 佐世保	65.5	53.0	5.5	12.8	0.7	1.9	27.0%	10.3%	3.6%					
59 延岡	15.2	14.5	0.4	3.8	2.7	4.7	26.6%	114.4%	32.7%					
60 長崎	120.8	54.5	0.5	14.2	2.0	3.2	26.3%	21.5%	5.8%					
61 下関	41.1	41.4	3.4	9.2	2.6	3.7	24.3%	29.1%	8.9%					
62 福岡	63.2	64.9	5.8	14.1	3.6	6.4	23.9%	32.1%	9.9%					
63 尼崎	42.1	50.0	3.0	11.2	0.7	1.7	23.7%	11.7%	3.3%					
64 仙台	65.0	52.2	1.1	11.6	3.0	5.3	22.8%	41.8%	10.2%					
65 豊中	22.6	8.8	0.0	2.0	0.3	0.5	22.8%	25.3%	5.8%					
66 伊勢崎	8.5	8.1	0.2	1.7	1.5	2.2	22.1%	114.8%	27.7%					
67 宇都	23.4	24.8	0.9	5.2	2.3	3.2	21.6%	52.7%	12.9%					
68 大分	12.6	16.4	1.5	2.9	1.0	1.8	19.6%	41.2%	11.1%					
69 門司	16.9	27.1	6.3	3.9	0.6	0.9	18.7%	9.0%	3.4%					
70 宮崎	6.1	15.9	0.4	2.3	2.7	5.0	14.6%	186.8%	31.6%					
71 都城	0.0	11.9	0.3	1.6	2.4	4.4	13.7%	235.6%	36.6%					
72 平	19.1	5.8	0.3	0.7	0.7	1.0	13.0%	95.9%	16.6%					
73 網走	8.0	11.8	0.5	1.2	0.4	0.6	10.6%	37.0%	5.3%					
74 若松(福岡)	6.0	17.6	3.3	1.2	0.4	0.7	8.4%	14.8%	3.8%					
75 宮古	2.4	6.9	0.4	0.4	0.5	0.7	6.8%	87.4%	10.4%					
76 新宮	1.9	5.9	0.2	0.4	0.4	0.7	6.2%	113.1%	11.2%					
77 高崎	3.2	11.7	0.9	0.7	1.2	5.6%	70.9%	8.3%	11.7%					
78 郡山	12.9	14.2	1.7	1.7	0.5	0.8	4.9%	63.5%	11.7%					
79 小田原	1.6	11.5	0.7	0.5	0.6	1.0	4.5%	86.4%	8.9%					
80 布施	4.5	26.5	4.7	0.8	0.3	0.9	3.5%	16.6%	3.4%					
81 岩国	1.7	10.7	0.1	0.3	0.3	0.5	3.2%	100.6%	4.3%					
82 光	2.0	7.1	0.0	0.2	0.5	0.7	2.6%	377.3%	9.7%					
83 八戸	2.5	15.6	0.8	0.3	1.4	2.6	1.8%	251.8%	16.9%					
84 海軍	0.4	5.4	0.2	0.1	0.2	0.3	1.5%	94.9%	5.5%					
85 室蘭	5.3	24.8	1.2	0.3	0.1	0.2	1.5%	14.7%	0.9%					
86 函館	2.1	39.3	4.0	0.4	0.3	0.8	1.1%	17.8%	2.0%					
87 盛岡	0.6	18.1	0.5	0.1	0.1	0.2	0.7%	38.8%	1.3%					
88 下松	0.4	7.5	0.1	0.0	0.3	0.5	0.6%	383.9%	6.0%					
89 田津	1.2	6.1	0.3	0.0	0.3	0.4	0.4%	154.2%	6.8%					
90 荒尾	4.4	8.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	-	-					
91 戸屋	7.3	7.6	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%					

東京市政調査会「日本都市年鑑 昭和24年用」129頁～130頁
 ※1「総戸数」には「住宅」のほか、「併用住宅」「非住宅」が含まれる
 ※2「被災率」は戦前戸数から戦前戸数を引き、戦災戸数を割ったもの
 ※3「復興率」は復興建築数を戦災戸数で割ったもの

2022 年 10 月 27 日

表2 公営住宅供給数

	単独市営住宅		国庫補助		県営住宅		計
	戸数	割合	戸数	割合	戸数	割合	
1946	0	0.0%	150	100.0%	0	0.0%	150
1947	0	0.0%	230	100.0%	0	0.0%	230
1948	0	0.0%	90	100.0%	0	0.0%	90
1949	0	0.0%	50	75.8%	16	24.2%	66
1950	6	2.8%	183	85.9%	24	11.3%	213
1951	32	24.4%	75	57.3%	24	18.3%	131
1952	15	18.8%	35	43.8%	30	37.5%	80
1953	10	6.1%	129	78.2%	26	15.8%	165
1954	11	8.2%	67	50.0%	56	41.8%	134
1955	1	0.5%	91	48.7%	95	50.8%	187
1956	10	6.9%	62	42.8%	73	50.3%	145
1957	12	9.7%	68	54.8%	44	35.5%	124
1958	20	15.5%	80	62.0%	29	22.5%	129
1959	21	11.4%	83	44.9%	81	43.8%	185
1960	20	12.0%	89	53.3%	58	34.7%	167
1961	20	15.3%	91	69.5%	20	15.3%	131
1962	32	18.3%	104	59.4%	39	22.3%	175
計	210	8.4%	1677	67.0%	615	24.6%	2502

出典:前橋市戦災復興誌編集委員会編『戦災と復興』前橋市役所,1964年,586, 587頁
単独市営住宅は厚生住宅、その他の住宅、県営住宅は、県公社供給住宅も含む

表3 前橋市における建物数変遷

年	種別											
	住家		店舗		工場		倉庫		雑種家屋		計	
	床面積	戸数	床面積	戸数	床面積	戸数	床面積	戸数	床面積	戸数	床面積	戸数
1945年12月	96,858	3,834	28,631	938	29,867	110	4,297	95	3,465	57	163,117	5,034
1946年12月	165,747	8,285	37,962	1,457	45,026	215	5,975	112	5,421	124	260,131	10,193
1947年12月	184,971	9,523	56,833	2,021	52,786	286	6,880	135	7,239	161	308,709	12,126
1948年12月	208,996	10,326	61,613	2,470	61,202	377	6,980	147	8,624	222	347,414	13,542
1949年12月	220,018	10,746	64,791	2,680	64,623	415	7,149	172	10,467	332	367,048	14,345
1950年12月	223,141	10,958	68,858	2,786	67,244	436	8,017	184	12,689	360	379,948	14,724
1951年12月	242,752	14,064	64,349	2,739	61,246	998	10,179	305	19,654	913	398,180	19,019
1952年12月	246,322	12,749	65,769	3,113	56,835	1,313	9,503	357	13,354	1,033	391,783	18,565
1953年12月	248,606	13,095	65,827	3,123	65,750	1,319	9,561	331	13,680	1,035	403,424	18,903
1954年12月	633,103	23,904	22,516	443	61,603	397	15,694	193	6,690	131	739,606	25,068
1955年12月	775,740	26,969	27,520	561	59,984	489	16,435	240	7,772	167	887,451	28,426
1956年12月	780,234	27,257	28,566	579	59,143	493	16,522	246	8,318	175	892,783	28,750

出典:前橋市『戦災と復興』586, 587頁。雑種家屋は劇場、映画館、キャバレー、ダンスホール、病院、浴場、その他を指す。

2022 年 10 月 27 日

表4 前橋市町別人口動態

町名		戦災	初期区画 整理区域	人										戸数									
				1942	1947	1952.7	1953.1 0	1954.8	1955.6	1947- 1955変 化率	1942- 1955変 化率	1942- 1947変 化率	1942	1947	1952.7	1953.1 0	1954.8	1955.6	1947- 1955変 化率	1942- 1955変 化率	1942- 1947変 化率		
列1	列2	列3	列5	列7	列9	列11	列13	列15	列18	列20	列22	列4	列6	列8	列10	列12	列14	列17	列19	列21			
市之坪			322	502	620	731	551	900	179.3%	279.5%	155.9%	66	100	115	143	110	183	183.0%	277.3%	151.5%			
天川町		第一	1805	2228	2736	2876	2253	3245	145.6%	179.8%	123.4%	34	490	570	593	477	688	140.4%	#####	#####			
六供			1512	2411	3347	3487	2901	3497	145.0%	231.3%	159.5%	201	458	649	676	560	687	150.0%	341.8%	227.9%			
国領町	△	第四	4037	4048	5236	5353	4587	5339	131.9%	132.3%	100.3%	728	792	1032	1064	921	1068	134.8%	146.7%	108.8%			
桑町	○	第一、第二	533	357	450	462	366	455	127.5%	85.4%	67.0%	82	76	72	74	72	77	101.3%	93.9%	92.7%			
岩神町	△	第二、第三	6550	8151	9177	9785	8283	10145	124.5%	154.9%	124.4%	1171	1809	1979	2109	1805	2239	123.8%	191.2%	154.5%			
萩町	△	第三、第四	3338	2958	3271	3440	3134	3571	120.7%	107.0%	88.6%	570	597	629	698	590	754	126.3%	132.3%	104.7%			
連雀町	○	第一	738	547	613	638	543	659	120.5%	89.3%	74.1%	143	114	127	130	121	135	118.4%	94.4%	79.7%			
堅町	○	第一、第二	918	704	795	832	747	839	119.2%	91.4%	76.7%	155	154	337	164	164	164	106.5%	105.8%	99.4%			
高田町			1547	1850	2121	2212	1855	2187	118.2%	141.4%	119.6%	320	417	445	466	406	489	117.3%	152.8%	130.3%			
清王寺町	△	第三、第四	5965	5478	5711	6492	5493	6455	117.8%	108.2%	91.8%	1030	1195	1144	1429	1205	1448	121.2%	140.6%	116.0%			
片貝町		第一	1119	1077	1243	1281	1157	1263	117.3%	112.9%	96.2%	262	242	265	275	253	289	119.4%	110.3%	92.4%			
向町	○	第三	3238	2613	2967	3036	2786	3059	117.1%	94.5%	80.7%	529	572	463	626	613	638	111.5%	120.6%	108.1%			
堀川	○	第一	1594	1400	1585	1629	1514	1635	116.8%	102.6%	87.8%	340	339	361	386	351	390	115.0%	114.7%	99.7%			
田町	○	第一	841	715	726	787	740	832	116.4%	98.9%	85.0%	205	160	150	161	159	162	101.3%	79.0%	78.0%			
天川原	△	第二、第三	1459	1828	2103	2157	1868	2123	116.1%	145.5%	125.3%	297	378	448	458	397	457	120.9%	153.9%	127.3%			
紅雲町	△	第一	3836	4269	4718	4884	4364	4941	115.7%	128.8%	111.3%	827	921	1005	1051	946	1071	116.3%	129.5%	111.4%			
一毛町	○	第三	5200	4431	4933	5156	5037	5116	115.5%	98.4%	85.2%	979	980	1044	1114	988	1173	119.7%	119.8%	100.1%			
百軒町・大塚町		第二	3556	4184	4567	4808	4414	4798	114.7%	134.9%	117.7%	702	982	979	1038	967	1065	108.5%	151.7%	139.9%			
本町	○		960	800	912	869	825	914	114.3%	95.2%	83.3%	181	178	172	170	185	187	105.1%	103.3%	98.3%			
才川町	△	第四	5226	5616	6214	6408	5695	6351	113.1%	121.5%	107.5%	1004	1202	1911	1325	1118	1363	113.4%	135.8%	119.7%			
田中町	△	第一、第二	2927	2722	2980	3096	2889	3068	112.7%	104.8%	93.0%	614	626	644	663	658	678	108.3%	110.4%	102.0%			
南曲輪・石川	△	第一	2743	2710	2991	3054	2776	3041	112.2%	110.9%	98.8%	390	630	687	702	638	714	113.3%	183.1%	161.5%			
細が沢町	○	第三	1024	755	807	853	814	847	112.2%	82.7%	73.7%	190	156	607	186	119	193	123.7%	101.6%	82.1%			
芳町	○	第二	3276	3085	3370	3461	3174	3445	111.7%	105.2%	94.2%	641	716	732	761	724	766	105.6%	117.9%	111.7%			
紺屋町	○	第二	1099	806	904	929	836	900	111.7%	81.9%	73.3%	226	225	202	205	221	202	89.8%	89.4%	99.6%			
榎町	○	第二	1144	875	932	964	927	977	111.7%	85.4%	76.5%	213	212	196	212	219	220	103.8%	103.3%	99.5%			
諏訪町	○	第三	1757	1480	1625	1645	1531	1645	111.1%	93.6%	84.2%	361	308	226	335	321	346	112.3%	95.8%	85.3%			
前代田	△	第一	3156	3563	3829	3994	3613	3896	109.3%	123.4%	112.9%	630	789	803	830	772	845	107.1%	134.1%	125.2%			
小柳町	△	第三	1366	988	1076	1093	1043	1074	108.7%	78.6%	72.3%	221	216	178	233	225	235	108.8%	106.3%	97.7%			
神明町		第二、第三	2077	2123	2227	2271	2170	2270	106.9%	109.3%	102.2%	449	472	490	508	469	525	111.2%	116.9%	105.1%			
宗甫分			736	936	1116	2618	915	999	106.7%	135.7%	127.2%	121	200	197	201	185	204	102.0%	168.6%	165.3%			
萱町	○	第二	1036	832	889	901	851	865	104.0%	83.5%	80.3%	220	182	302	194	191	192	105.5%	87.3%	82.7%			
中川町		第一、第二	1971	1149	1146	1194	1257	1193	103.8%	60.5%	58.3%	219	244	236	247	248	248	101.6%	113.2%	111.4%			
琴平町	△	第三	1309	1046	1054	1077	1086	1086	103.8%	83.0%	79.9%	241	234	219	226	237	234	100.0%	97.1%	97.1%			
新町			1356	2156	2053	2151	2009	2191	101.6%	161.6%	159.0%	262	420	420	440	407	453	107.9%	172.9%	160.3%			
横山町	○	第二	675	445	469	457	456	452	101.6%	67.0%	65.9%	107	98	91	88	92	91	92.9%	85.0%	91.6%			
栄町	△	第二、第三	2451	2193	2338	2262	2332	2219	101.2%	90.5%	89.5%	442	473	512	495	455	514	108.7%	116.3%	107.0%			
北曲輪町・柳町		第二	1403	1472	1440	1516	1434	1464	99.5%	104.3%	104.9%	337	334	314	334	339	334	100.0%	99.1%	99.1%			
曲輪	○	第一、第二	2115	2350	2371	2398	2380	2296	97.7%	108.6%	111.1%	425	542	502	513	552	518	95.6%	121.9%	127.5%			
相生町	○	第一	618	593	589	587	609	576	97.1%	93.2%	96.0%	139	124	117	116	127	120	96.8%	86.3%	89.2%			
立川町	○	第二	1483	2206	1421	1432	1307	1382	62.6%	93.2%	148.8%	283	295	159	306	297	303	102.7%	107.1%	104.2%			
東町					954	853		930						171	165		198						
敷島町								180									34						
天川大島								1298									286						
上大島								788									120						
上長磯								518									78						
野中町								697									109						
東上野								367									53						
女屋町								353									50						

出典：各年度前橋市市勢要覧および前橋市統計書
「戦災」は「○」全城、「△」一部区域。罹災図より小林が判定。

図 1 前橋罹災状況図



出典：群馬県『前橋戦災復興誌』1960年,8頁.

前橋駅